

育てよう 鏡野のよい子シリーズ



心をはぐくむ

私は富中学校に赴任して6年目になります。また、図書担当になって4年目を迎えます。

富中学校にきて発見したことは、生徒が大変読書が好きだということです。

そこで、「読書活動が大切である」という校長の勧めもあり、毎月1回、鏡野図書館から生徒の希望する本を借りたり、学期に1回、岡山県立図書館から本を借り、クラスに図書コーナーを作ったりするようにしました。それから、教職員や文化委員会の生徒と協力し、また、鏡野図書館などと連携していろいろな活動をするようにもなりました。今、富中で行っている読書活動を紹介します。

①朝読書

全教員も参加し、生徒と共に約十分の読書を毎日しています。

②多読賞

生徒の中で本をたくさん読んだ

生徒を文化委員会が表彰しています。

③読み聞かせ

1・2年生の生徒が小学校に出向いて、児童に読み聞かせをしています。

私自身は、富中の生徒にとって本を読むことの大切さを次のように考えています。

富中は、山間の小規模校で、小さいときから人間関係が固定化しがちで、社会の見聞や人づきあいの経験が限られるという一面があります。そういった経験の乏しさを少しでも補いつつ、社会について広い視野を持つ上でも、富中の生徒にとって読書は有益なものではないでしょうか。生徒はただ単に本が好きなのかもしれませんが、私は本を読むことが生徒の成長にとって大事なことで、これからの読書指導に力を入れたいと思っています次第です。

鏡野町生徒指導推進連絡協議会
富中学校 小山 浩司

のびのびひろば

(郷幼稚園)

楽しかった!

お餅をついたよ



いただきま〜す

11月28日にお餅つき大会をしました。お父さんやお母さんと一緒に杵でお餅をつき、子どもたちも目を輝かせていました。

お餅をついた後は皆で会食をしました。お雑煮、きなこ餅、紫芋のお餅やあんこのお餅など様々な味を楽しみ、食べた子どもたちから「美味しい」という声が聞こえてきました。

来年も一緒にしようね。



こねこね
まるくな〜れ



ぺったん
ぺったん



皆で食べたなら
おいしいね